

微風

そよかせ

山陰労災病院

平成21年6月号

No.30

- 病院機能評価認定施設
- 医師臨床研修指定病院
- 地域医療支援病院
- 救急告示病院

山陰労災病院の基本理念

私たちは、地域の皆さまと働く人々から信頼され
選ばれる病院を目指します

胃がん — 大きく変わってきた標準治療 —

外科部長 竹林 正孝

はじめに

皆さんもご存知のように、日本人の平均寿命は男性78.53歳、女性85.49歳（2007年）と世界有数の長寿国になっています。そのわが国における3大死因はがん、心疾患、脳血管疾患ですが、年間死亡数をみますと、がん 32万5千人、心疾患17万3千人、脳血管疾患13万2千人となり、がんが突出しているのがわかります。その中で死亡数の第一位は肺がんですが、がんにかかった人の数、すなわち罹患数は胃がんが一番多いのです。世界の中で日本は胃がんがもっとも多く発生する国であり、その逆に治療法においても最も進んだ国なのです。ちなみに都道府県別には日本の平均を100としますと鳥取県の指数は101～110に入り、平均よりはやや多く発生しています。

胃がんの治療

さて、胃がんの治療といわれて真っ先に思い浮かぶのは、やはり手術だと思っています。以前は見つかったがんをとにかく残さずに取り除くことが、がんから開放される唯一の方法でした。25年ほど前からは早期のがんについては胃内視鏡で粘膜を切除する方法が出てきました。さらに手術では不十分であったり、再発したときに抗がん剤を投与していました。これらの努力により胃がんの生存率は確実に改善されてきました。しかし、その一方で治療内容は地域によっても、また病院によっても少しずつ異なっているのが現状で、格差が生じているとの指摘がありました。

胃がん治療ガイドライン

がん治療における地域間格差をなくし、全国におけるがん治療の均てん化を図る目的で2001年に出来たのが、胃がん治療ガイドライン（初版）なのです。このガイドラインでは、病気の進み具合に応じて、標準的な治療として日常おこなわれるべきものを示したものです。より早期の胃がんは内視鏡的胃粘膜切除（EMR）の適応。それ以上は手術的切除（一部研究的治療として腹腔鏡下胃切除術）、進行胃がんの術後補助化学療法、遺残がんや切除不能例への化学療法などが規定されました。これは治療の均てん化という点では大きく貢献しました。その後の治療の蓄積によって2004年にはガイドラインの第2版が出ました。これもまた治療の進歩と新たな証拠によって、治療内容が進化しています。

大きく変わってきた標準治療

実はここ数年で胃がん治療が大きく変わってきたのです。順を追ってお話します。

1. 手術を受けなくても治る!?

早期胃がんの内視鏡的切除が拡大し、内視鏡的胃粘膜切除術（EMR）から内視鏡的胃粘膜下層剥離術（ESD）が広がり早期胃がんのかなりの割合が手術ではなく、内視鏡で治療できるようになってきました（当院でも行っています）。

2. 腹腔鏡下手術の適応拡大

早期胃がんでESD適応外のときは、低侵襲手術として大きく開腹しない腹腔鏡下胃切除術が広まってきました。数年前王監督が受けられた手術として広く知られました。徐々に進行がんにも適応が広がりつつあります（これも当院では積極的に行っています）。

3. 拡大手術の見直し

従来高度進行がんでも病変より遠くのリンパ節や転移臓器を合併切除することにより生存率をあげようと努力されてきましたが、かえって成績はよくなかったことが判明しました。大きすぎる手術は控えるきっかけになりました。

4. がんが薬が効く!がん化学療法の進歩

これまで抗がん剤が胃がんにも効くかどうかについては十分な証拠がありませんでしたが、最近その証拠がたくさん証明されてきました。①再発を予防する化学療法（補助化学療法）。TS-1を12ヶ月服用すると再発が減ることが証明されました。②手術では切除しきれない場合や、手術後に再発した場合の抗がん剤。この場合も腫瘍縮小効果の高い薬剤が出てきました。③手術の前に行う化学療法（術前化学療法）。そのままでは切除できないような場合に、まず抗がん剤で腫瘍を小さくしたのち手術を施行することもできることがあります。これらの使用方法により生命予後が著明によくなりました。（当院では内科、外科、放射線科などで積極的に施行しています）

以上のように、胃がんの治療法はかつてなかったほどに変わってきました。早期に発見できれば、手術は不要ですし、完全な治癒も期待できます。ぜひとも健診やドックなどを受診いただき、胃がんの早期発見、早期治療にご理解をいただければ幸いです。最後に胃がんに限らず、がん予防の12か条をお示しして終わりにいたします。

がん予防12か条

- (1) バランスのとれた食事を摂る
- (2) 毎日変化のある食生活を
- (3) 食べすぎを避け脂肪は控えめに
- (4) お酒はほどほどに
- (5) タバコはできるだけすわない
- (6) 食べ物から適量のビタミンと繊維質のものを摂る
- (7) 塩辛いものは少な目に、熱いものはさましてから
- (8) 焦げた部分は避ける
- (9) カビの生えたものに注意
- (10) 日光に当たり過ぎない
- (11) 適度にスポーツする
- (12) 身体を清潔に

